

文化功労賞をいただいて

桑名市文化協会前会長 佐藤 勤三

桑名文化功労者

平成12年3月1日
第 8 号
桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361

ご挨拶

桑名市文化協会会長

内藤 恵介



平成十一年五月
の総会において、
会長に指名され、身
のひきしまる思いです。

平成五年、桑名市文化協会が、中
川前市長と鈴木教育長の強い仰望の
もとに設立され、以来、皆様の熱心
なご活躍によって大きく発展し、そ
の実績を評価されて、平成十一年度
佐藤前会長をはじめ、三名の先輩の
方々が桑名市文化功労賞の栄に輝か
れました。文化協会にとっても非常
に名誉なことです。

戦後五十有余年、戦争を放棄した
日本における新しい発展は、学問・
芸術・科学を中心とした文化にあり
ます。『水と緑の文化のまち』をめ

ざす桑名市においても文化協会の役
割は大いに期待されるところです。
さて、市民芸術文化祭も第八回を

迎え、その事業を協力して行うこと
によって新しい理解も生まれ、お互
いのジャンルを越えた活動が育つて
まいりました。文化の発展は決して
独善的なところにあるのではなく、
個性豊かな皆様がお互いに理解しあ
うところにあるのです。

さびしい経済の中で、世の中が縮
小傾向にあり、その中でこそ文化創
造の出発点である桑名における地域
文化のさらなる発展向上につとめな
がらも三名の方が表彰を受けられま
した。

桑名市文化功労者表彰 郷土の文化発展に貢献

桑名市文化協会前会長 佐藤勤三さん

平成十一年十月二十八日、桑名市
文化功労者として、桑名市文化協会
からも三名の方が表彰を受けられま
した。

桑名市文化協会前会長 佐藤勤三さん
桑名邦楽協会会长 大竹一枝さん
石彩会主宰者 故石垣彰夫さん

尚、三重県の文化奨励賞受賞者と
して、水谷勝子さん（日本画研究会
主宰者）が表彰されました。

四人の方の表彰は、本協会にとっ
ても非常に誇らしいことです。今後、
さらに桑名市の文化振興に少しでも
貢献できるよう、会員全員の力を結
集しましょう。

桑名の文化活動が、私どもの桑名
と世界のためになるようにと念じな
がら。皆様ありがとうございました。

このたび、文化功労者
として表彰いただき、ま
ことに恐縮し、感謝し、皆様に厚く
御恩を感じています。 小生

桑名市の文化協会のお仕事は、市長
さんや教育長さんのご意向がこの辺
りにあるものと思い、たくさんの文
化協会員のご意見を訊き、この方々
や市の教育委員会とその事務局の献
身的な御協力を得て、仕事を進めて
きた次第です。審査委員会の公正な
審査の下、表彰を受けることになっ
たと伺い、深く感謝しています。

私は、若い頃、三島由起夫原作によ
るミュージカル「あやめ」の製作責
任者として、文部大臣から芸術大賞
をいただいたことがあります。その
ミュージカルは、世界最高の音楽番
組に与えられる『オンダス賞』を獲
得しましたが、その時より、このた
び、私の故郷、桑名で、この賞をい
ただいたことの方々が、遙かにうれ
しく、心温まる思いがします。これか
らは、皆様からいただいた御恩に、
その万分为一でも報いられますよう
にと静かに一步一歩足を進めていき
ましよう。

第八回桑名市民芸術文化祭



部門だより

文学部門 木原 広志

(くわな川柳会)

作品集と初心者講座

【コミュニティプラザ】

11/7	謡曲まつり
11/7	みよっどんともいでの！
11/14	演劇の祭典
11/19～23	美術展

【六華苑】

11/2～3	華道展
11/3	茶会
11/20～21	伊勢型紙の年賀状作り
11/21	囲碁・将棋名人戦
11/21	百人一首かるた初心者入門講習会
11/23	競技かるた模範演技見学会

【市民会館】

10/30	子どもと高齢者みんなで将棋大会
10/30	水石展と桑名の街のレーシーワールド
11/1	11/3 文芸展・菊花展
11/3	FOR YOU! DE モーブメント
11/3	囲碁・将棋合同大会
11/7	芸能の祭典
11/7	ざくばらんトーク(7)
11/20～23	趣味教養グルーブ展
11/21	音楽のフルコースパート4
11/23	吟劍詩舞道の祭典

短歌、俳句、川柳、二五六名により構成する文学部門では川柳会が当番となりお世話をすることになり、公民館において二回代表者の会合を開きました。

文学部門では恒例の文芸展に加え新たに事業計画の中へ三部門参加の「合同作品集」を盛り込みました。平素発表している作品の中から夫々自選した作品を掲載、一冊の発表誌として残すものあります。短歌、俳句はそれぞれ月刊の誌紙は出していても、結社の垣根を越えた作品集はなく計画中のものは総合作品の一集になります。

次に文芸展の投詠、投句の中には添削を要する作品が見られることから各部門が「初心者講座」を開くことを決め、第一回は俳句が担当し、行う予定になつております。広く市民へ初心者講座を設け、気軽に一日教室へ参加していただき、生活の中へ文芸を楽しむ趣味を持つていただきことを希望するものです。又本年は趣味教養部門西村氏のご理解により六華苑で開催の県民文化祭将棋まつりに、「川柳投句箱」を併設その選句を川柳部門が担当しました。

市民の皆さんも楽しめる文芸作品を発表していきたいと思っています。

文学部門では恒例の文芸展に加え新たに事業計画の中へ三部門参加の「合同作品集」を盛り込みました。平素発表している作品の中から夫々自選した作品を掲載、一冊の発表誌として残すものあります。短歌、俳句はそれぞれ月刊の誌紙は出していても、結社の垣根を越えた作品集はなく計画中のものは総合作品の一集になります。

次に文芸展の投詠、投句の中には添削を要する作品が見られることから各部門が「初心者講座」を開くことを決め、第一回は俳句が担当し、行う予定になつております。広く市民へ初心者講座を設け、気軽に一日教室へ参加していただき、生活の中へ文芸を楽しむ趣味を持つていただきことを希望するものです。又本年は趣味教養部門西村氏のご理解により六華苑で開催の県民文化祭将棋まつりに、「川柳投句箱」を併設その選句を川柳部門が担当しました。

市民の皆さんも楽しめる文芸作品を発表していきたいと思っています。

「川柳」 木原広志先生選

【短歌】 大平修身先生選
すこやかな孫の成長願いつつ
毛糸にこめて想い編みこむ
鉦太鼓街から街に轟いて
夕映えに一際白き百合鷗
一羽の翔てば競い群れ舞う
城跡に鷗の舞えば尚白く
お濠の空の輝き増せり
敬老の初案内の通知きて
健康の夫としみじみ語る

入選	作紹介
腕組みて懸崖菊に立ち尽くす ふる里の香りが届く秋が好き 木履に疲れて眠る七五三 運動会笑顔が先に走り来る 丸き背をなほ丸くして日向ぼこ 着ぶくれて患者の胸の薄きこと	葛山たけし先生選 腕組みて懸崖菊に立ち尽くす 秋夕日いかり仏間に座しており 夫と居て話すことなく日向ぼこ 運動会笑顔が先に走り来る 丸き背をなほ丸くして日向ぼこ 蓮花寺 一色町 内田富貴子 蓮花寺 一色町 内田富貴子 蓮花寺 一色町 内田富貴子 蓮花寺 一色町 内田富貴子 蓮花寺 一色町 内田富貴子 蓮花寺 一色町 内田富貴子
柳一色原 蓮花寺 水谷義弘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘 希望ヶ丘	西別所 東野山 本和子 西別所 東野山 本和子 西別所 東野山 本和子 西別所 東野山 本和子 西別所 東野山 本和子 西別所 東野山 本和子
山本利夫 子子子郎佐 山本利夫 子子子郎佐 山本利夫 子子子郎佐 山本利夫 子子子郎佐 山本利夫 子子子郎佐 山本利夫 子子子郎佐	菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐 菊田真佐

二十一世紀への夢

美術部門 山田 輝之

(全日本写真連盟桑名支部)

め趣旨に賛同する方々から広く浄財を募り、やがて美術文化の殿堂誕生へと進むのが夢のシナリオです。

いずれにしても夢は第一歩を踏み出さなければ実現しないと想うのですが……。

第八回桑名市民芸術文化祭の美術部門展は、例年のようにコミュニティプラザで多数の会員の協力により会場を設営して開催されました。

美術部門展実施要領の出品規定には、一人一点の出品とありますが、会場の都合で出品の機会は、四年に一回程度が現状で美術展の会場難は深刻です。作者が心血を注いだ作品の展示には、その作品にふさわしいスペースと照明が必要で、無理にガラクタ市のように展示しては作品が泣いてしまいます。

そこで美術部門の活動拠点としての、市民ギャラリー建設の夢を描いてみました。建設場所はコミュニティプラザ、市民会館などの駐車場の上部空間を借用し、建設費節減のためには、外壁はトタン張り、内装はベニヤ板張りでも良いのですぐ、展示設備は作品の展示効果を十分配慮し、太陽光発電装置を設置できれば素晴らしいと思います。

美 術 展 (11/19~23) 於: コミュニティプラザ



作品搬入・設営



会場設営(パネル組立・設置)

音楽のフルコース part 4

音楽部門 水貝 英明

(カンタービレ くわな)

十一月二十一日(日)、桑名市民会館大ホールにて、『音楽のフルコース part 4』と題して文化祭が開かれた。今回いろいろのジャンルの音楽グループが集まり、第一部では、J.C. Brothers、希望ヶ丘女声コーラス、桑名少年少女合唱団、桑名リコーグー教育研究会、Y.K.K.Tグループ、シャンテクレール+桑名吹奏楽団の6グループ、第二部では、桑名マンドリン俱乐部、くわな市民コーラス、桑名弦楽合奏団、混声合唱団カンタービレくわな、トーンインポップスオーケストラの5グループが参加した。年々減少している参加グループの中で今回の十一グループは日頃の練習の成果を十分に聴衆に披露した。そして第二部の最後では、グランドフィナーレとして、参加グループ全員による、「Belliveau」「少年時代」の二曲が演奏された。

音楽のフルコース part 4 (11/21) 於: 市民会館ホール



グランドフィナーレ(会場全員による大合唱)



合同演奏も見どころのひとつ

老人ホームを

慰問して

芸能I部門 木村 喬信

(藤寿栄会)

会員四十名が、三味線の音色に魅せられ、民謡・小唄・端唄・舞踊と自分に合った部門で励んでいます。

ときに「人は型にはまる」ことを望むもの」である。決まった日時にびつり練習に励むことは、大変忍耐のいることであるが、一つの芸に励むことが他のしごとにひびき合うことに快さを感じるこの頃である。

私たちの師匠は、ボランティア精神で人の和(輪)を大きく、共に渝しむことを会の大きな柱にされている。

昨年の暮には大安町福祉会館へ老人慰問し、共に渝しむことができた。昔なつかしいメロディーに皆さんのかほころび、和やかな雰囲気が会場を魅了した。

演ずる者・聞く者が一つになって会もたけなわとなると、とび入りの方も現われ満場歓喜……「よかつたね」「たのしかったね」とにこやか

に応えて下さった笑顔に励まされ、来年もまた慰問させて頂きますと約束したことである。

最後に桑名文化協会に大へん御世話になつておりますこと、深く感謝申し上げます。

詩文の理解

(桑名市吟劍詩舞連盟)

芸能II部門 伊藤 昇三

会員四三〇名を擁する桑名吟劍詩舞連盟を核として活躍する当部門は、各流派が和気藹々の雰囲気の中で、毎年、市民文化祭に参加しています。

漢詩で表現した吟詠、剣舞、詩舞は一衣帶水の関係にあり、故に詩句を単に誦ずるのみならず、詩の背景にあるもの、即ち、隠された作者の心象を理解しなくては斯道の更に高く深い境地を求める事は出来ません。

漢詩には律詩、絶句、古詩、長詩などあり、絶句の語義は起承転結の四句に断ち切れるという意味で、一般に於ても大切な定石として使われています。頼山陽の俗謡で有名な

京の三條の糸屋の娘 (起句)

姉は十八、妹は十六 (承句)

諸国諸大名は弓矢で殺す (転句)

糸屋の娘は目で殺す (結句)

は作詩上の絶句の並べ方を示す好例で味わい深く参考になります。

人口に膾炙された詩人は、中国では詩仙の李白、詩聖の杜甫、王維、孟浩然、韓愈、王之渙、白居易など

又日本では頼山陽、梁川星巖、藤井竹外、西郷南洲、広瀬淡窓、夏目漱石などが挙げられます。題材を自然のみに限らず、思想や叙情的或いは感傷的など巾広く求め、いずれも感動を与える事が必須です。

市民文化祭で登場した頻度の高い吟題五傑を列記し参考に供します。

一、菊花

白 居易

二、峨眉山月歌

李 白

三、西行入伊州初見紅葉

梁川星巖

四、舟発大垣赴桑名

頼 山陽

五、九月十三夜陣中作

上 杉 謙信



日常活動のひとこま



中国 黄 鶴 楼 (コウカクロウ)

黄色い鶴に乗って去った仙人を偲んで建てられたとされる高楼。李白らの詩で有名。

市民芸術文化祭で

「石取祭」を踊る

芸能Ⅲ部門 武者真理子

(武者真理子モダンバレエキッズ)

十一月三日文化の日に、従来のステップdeムーブメントが、フォーユウノ・DEムーブメントと名称を変え、一般参加の子供達と共に、新しく生まれ変わりました。

第一部がモダンバレー、第二部がフラダンス、第三部がジャズダンスそして第四部が一般参加の子供たちの創作ダンスと、長時間に渡って、盛り沢山の内容で、多種多様な舞踊を市民の皆さんにも楽しんでいただけた事と思います。

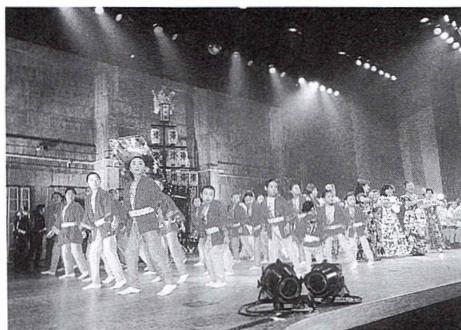
又、今回はグランドフィナーレに石取祭を取り上げ、東矢田の自治会とお都女会の皆さんのご協力で、祭車を舞台に運び、三つのグループが同時に各々の創意工夫で、鐘と太鼓に合わせて踊るという楽しい舞台が実現しました。石取祭という歴史と伝統のあるお祭を如何に踊りで表現するか苦労しましたし、まだまだ未熟な踊りでしたが、各グループの個性を感じただけたら幸いです。

茶会(11/3) 於:六華苑



一の間席担当 表千家

FOR YOU! DE ムーブメント
(11/3) 於:市民会館ホール



グランドフィナーレ
「石取の鐘や太鼓とともに踊る」

今回、一般参加の子供たちの、パワフルで踊るのが好きでたまらないといったダンスに刺激され、私達も負けずに頑張ろうと意欲をかきたてられた一日でした。今後の桑名のダンスシーンの益々の発展を期待しつつ。有難うございました。

負けずに頑張ろうと意欲をかきたてられた一日でした。今後の桑名のダンスシーンの益々の発展を期待しつつ。有難うございました。

樂在一碗中

茶華道部門 井野 紹久

(表千家)

番蔵棟には、各流の花が活けられ玄関、洋館にもその部屋にふさわしい花が来館の方々の目を引きました。

平成十一年度市民芸術文化祭、今回表千家流にて茶席を担当させていただき大勢の皆様方にお出掛けいたしましたこと心から御礼申します。

昔から桑名に伝わる焼き物塗器等出来るだけ皆様の身近な親しみのある道具で、普段着のままゆっ

くりと一服召し上っていたただき、多くの方に参加していただける肩のこらない楽しい茶会にしたいと願っていました。

とかくお茶会といえば作法を知らないからと敬遠されがちですが、日頃の忙しさを忘れ六華苑の庭を眺めながら初めて会う隣の席の方と話し、おいしいお菓子とお茶で一刻を過ごすことの素晴らしさ、是非皆さんで味わって下さい。又、外國からの交換学生で来てみ

平成十二年度 六華苑での月釜予定

(午前十時～午後三時三十分)

	開催日	茶道担当流派	華道担当流派
四月十六日(日)	表千家		
五月二二日(日)	裏千家		
四月二二日(日)	表千家		
五月十六日(日)	遠州流	池坊	
七月十七日(日)	松尾流	竹真流	
九月十七日(日)	中山文甫会・池坊サ		
十月十五日(日)	煎茶 松風流	石田流	
十一月二十一日(日)	裏千家	クル・いけばな池坊	
一月二十八日(日)	表千家	草月流	
三月十八日(日)	松尾流	小原流	
	M O A 山月光輪花		

*茶会は離れ屋、華道展は番蔵棟・洋館で行います。
会員の方も、ぜひお誘い合わせの上、お越しください。

える方でしようか、振袖姿で正座をなさりお茶を召し上がるが下さった。男の子のフランス人パトリック君は、ついにお茶の魅力に惹かれて八月の帰国までお稽古を始められたとか:

日本の文化が外国の人に少しでも理解していただける様になるのならば、文化協会を盛り上げてゆく一端になつてゆくのではないかと思ひます。今後も月一回の月釜を含めて年中季節の感じられる茶会が開かれる桑名は素敵な市です。「樂在一碗中」楽しみは一服のお茶を頂くことの中にもあるとしみじみ思ひます。

熱演！燃えた演劇祭！

演劇部門 羽場 正一

(桑名西高演劇部顧問)

第八回桑名市民芸術文化祭、演劇の祭典が、十一月十四日（日）桑名市コミュニティープラザで、五団体の上演で盛大におこなわれました。

今回は、子ども演劇くわなの、喜多と志作・演出による「ともだちや」「なぞなぞの森」の一本立て、のびのびした演技で好評でした。

舞台も工夫されていて将来が楽しみな演劇部になりそうです。

最後は、昨年より旗揚げして、今回二回目の高校OBで演劇集団をつくっている「桑西児」による、七嘉豊香演で、アクションも大きく笑いもあってみごとな舞台でした。

高校の演劇では、桑名高校の水野陽子作「破稿 銀河鉄道」、桑名西高校の水原亜衣作「お嫁に行かなきや」、「」、三年ぶりに出演した桑名北高校の高田詩織作「夜間飛行」の三本でした。いずれも、一年生中心の、みずみずしい演技とリアルなセットで充実した仕上がりでした。照明、

劇団すがお第58回公演「レンタルファミリー」が、四月二十三～二十五日と四回上演で、約三百人の観劇でした。現代を風刺した家族愛のドラマでした。息の長い「すがお」の公演を、今後も期待いたします。

最近の石取祭研究について

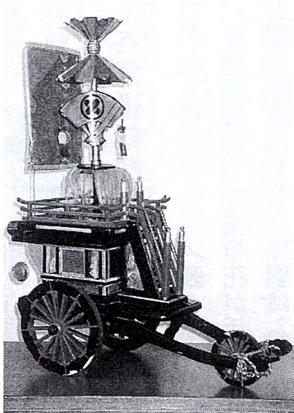
社会文化部門 小川雅生

(石取祭車研究会)

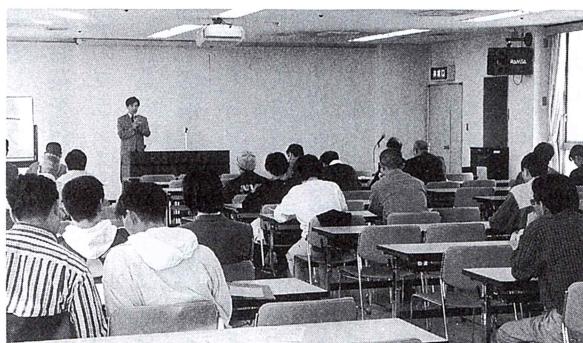
石取祭についての調査研究は、平成十年に発行された「三重県祭礼行事記録調査報告書 石取祭」により、行事に関しては纏められ、多くの人が知ることができるようになったと言えよう。しかし、石取祭においては重要な特徴というべき囃子について

ての調査と、個々の祭車についてはあまり触れることができなかつた。また年々様相の変わる行事についても、今後の継続的な調査が必要である。

これまでの石取祭や祭車に関する研究は、内部関係者によるものが大半であることから、外からの目による研究も必要であると痛感している。そこで今回の「ざつくばらんトーク」では祭礼民俗研究家鬼頭秀明先生による「東海の山車祭りと石取祭」と称して講演を行った。県外からの参加者も多く、後半の質疑応答では

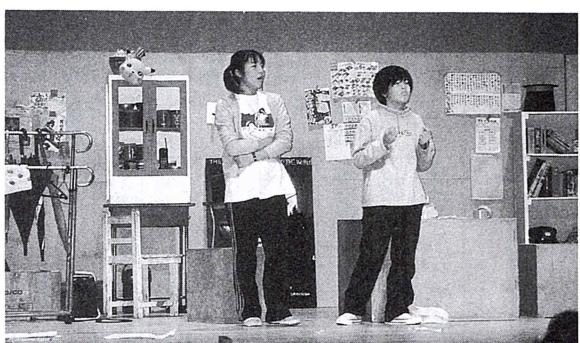


ざつくばらんトーク (11/7)
於：市民会館大会議室



鬼頭秀明先生の講演

演劇の祭典 (11/14)
於：コミュニティプラザホール



桑名高校演劇部の上演 「破稿銀河鉄道」

編む・縫う・ 思いを紡いで

趣味教養部門 中原菜穂子

(手作り仲間 "輪")



示と手作り講習会をさせていただきました。

六華苑の展示会では多くの方々に
私達の活動を見ていただくことがで
き、また、思ひがけない素敵な出会い
もあり、とても幸せに思っています。

私達は、現在それが地域のサー
クルなどで指導しながら、自らも創
作活動を行っています。

日頃の三人の創作活動を、手作り
仲間 "輪" の展示会に発表すること
によって、地域に根ざした手作りの輪
を広げていきたいと思っております。

そして、私達の活動を理解し、展
示会などではいつもスタッフになつ
てくれる私達の夫や子供達に、感謝
をしながら、"輪" のテーマであり
ます "編む・縫う・思いを紡いで…
⋮" を胸に、日々努力していきたい
と思っています。

手作り大好きという共通点が仲間
を集め、手作り仲間 "輪" を結成、
桑名市文化協会趣味教養部門に入会
させていただいて三年になります。

現在、籐工芸の山田尚子代表を中心
に、アメリカンパッチワークキル
トの杉浦恭子、中原菜穂子の三名で
活動しております。

本年度は、四月の文化協会趣味教
養部門の文化市場に手作り講習会と
作品頒布で参加し、十月には六華苑
番蔵棟にて第五回手作り仲間 "輪"
展を開催、十一月には桑名市民芸術
文化祭趣味教養グループ展で作品展



展示の様子

みんなよつといで! 「子どもの広場」

子ども文化部門 高草 環 (桑名子ども劇場)

平成十一年十一月七日(日)桑名

市コミュニティプラザの中会議室は
子どもたちの声であふれています。
子ども文化部門では、主催グルー
プが協力し合い「子ども広場」を開

催しました。午前・午後の二部構成
で、パネルシアター・手あそび・親
子の創作劇と、子どもたちも熱心に
鑑賞し、手づくりコーナーでは、ど
んぐりのコマやヤジロベエ、プラバ
ンなど親子で夢中です。またブック
トークでは、図書館にある絵本の紹
介があり、子どものマナー教室では、
「訪問」をテーマにゆつたりとした
雰囲気の中、大人も改めて生活を見

直すことができました。

集まつた子どもたちが、自分で考
えることができる企画を工夫し、続
けてゆくことができると思
います。

平成十一年十一月七日(日)於: コミュニティプラザ



どんぐりや石ころ・折り紙など
作った作品に大満足の子どもたち



子どもたちの楽しそうな
顔・かお・カオ………

春の文化市場（バザール）

いい出会い・いい発見

趣味教養部門 西村邦彦

（日本アマチュア将棋連盟
東海ブロックくわな）

らしい出会い・発見がありそう…。そんな催しが「文化市場（バザール）」です。自分たちが普段練習している様子をそのまんま皆んなの集う会場で気軽に展開してみたいと思います。

市文化協会に集う団体（個人）が各地で様々な発表形態をもって活動されています。

私たちは、自分の関わりのある活動分野に於いて、「広めたい」「高めたい」という気持ちで、日々研鑽に励んでいます。そこで、その努力と相まって全く違うジャンルの団体（個人）が一堂に会して、それぞれの想いで発表してみたら、何か素晴らしいと思います。



昨年4月の「春の文化市場」看板

第 八 回 総 会 予 告

日時 平成十二年五月十四日（日）午後二時から
場所 桑名市民会館 大会議室
内容 昨年度事業報告・収支決算について
今年度事業計画・収支予算について 他

尚、総会終了後（午後二時から）懇談会を開催します。代議員以外の方も多数御参加ください。日頃の文化活動の悩みなど、気軽に話し合いましょう。

桑名市文化協会育成補助金の募集について

桑名市文化協会では、芸術文化振興のため、文化協会会員が企画して

行う事業に対して補助金を交付しますので、ふるってご応募ください。

課内）で申請書類を受け取り、同事務局へ申請する。

平成12年3月1日～3月31日
(平成12年4月1日～平成13年3月31日の実施事業分)

♦補助対象団体等

文化協会の個人及び団体会員で当該年度4月1日をもって、桑名市文化協会に在籍一年以上の会員。

♦補助金の額

事業企画実施に要する交付対象経費の2分の1以内の額で30万円を限度とする。

♦応募の方法

文化協会事務局（教育委員会文化

平成11年度、補助金を受けた会員は、平成12年度・13年度は交付申請できない。

♦お問い合わせ

桑名市文化協会事務局
(桑名市教育委員会文化課内)

☎ 0594（24）1361

編集後記

本年度は、前桑名市文化協会会長の佐藤勤三先生をはじめ、たくさんの方々が桑名市文化奨励賞を受賞された記念の年でありました。また二〇〇〇年は、「希望の年」「尽己」を肝に銘じて、皆様と共に頑張っていただきたいと思います。

最後となりましたが、会員の皆様の和あるご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員長	担当常任理事	吉田敏男
委員	芸能Ⅰ部門	松尾廣志
委員	文学部門	木原輝之
委員	音楽部門	山田英明
委員	芸能Ⅱ部門	伊藤昇三
委員	芸能Ⅲ部門	小出輝之
委員	茶華道部門	水貝英明
委員	演劇部門	小川昇三
委員	社会文化部門	羽場正一
委員	趣味教養部門	福子章子
委員	子ども文化部門	平屋敷恒子
委員	演劇部門	種瀬映子
委員	社会文化部門	長尾寿美子